



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

令和2年10月26日

報道機関 各位

【ご案内】出雲高校×地域医学共同研究部門
全国初！高大産官連携
完全リモート形式で医療機器・システムを実体験します

◆本件のポイント！

- ・コロナ禍で高大連携によりリモート学習を実施
- ・島根大学発の先端医療機器・システムを体験
- ・全国初となる完全リモート・高大産官連携フィールド学習

◆本件の概要

島根大学とSSH指定校の島根県立出雲高等学校（理数科1年生）は、12年間にわたり高大産官連携のフィールド学習を行ってきました。生徒に島根大学が開発した医療機器・システムを実体験してもらうことで、科学技術の先端に触れ、医学に対する興味を深めていただくのが、主な目的です。今年度は新型コロナウイルス感染症への対応を考慮し、島根大学地域医学共同研究部門（出雲キャンパス）と出雲高等学校の2会場をWEBで繋ぎ、完全リモート形式ながら、例年と変わらない体験型フィールド学習を実施します。開発に関わった企業と出雲市役所もWEB参加します。高大産官のインタラクティブなやり取りから、新鮮な発想が生まれ、今後の開発のヒントになることも期待されます。

◆概要内容

令和2年11月6日（金）9時～15時40分

企業、出雲市役所の参加は14時40分頃から

（添付資料のスケジュールをご参照ください）

場所：島根大学・地域未来協創本部・地域医学共同研究部門（出雲キャンパス）

島根県立出雲高等学校（Microsoft Teams を繋いでのWeb通信となります）

※開催時間内は、各場所での取材が可能です。

主催者：島根大学

◆本件の連絡先

島根大学地域未来協創本部 地域医学共同研究部門長・教授 中村守彦

TEL: 0853-20-2916（直通）または0853-20-2912（事務）

島根県立出雲高等学校 教諭 砂流 苑実（すながれ そのみ）

TEL: 0853-21-0008 FAX: 0853-22-7855

E-mail: sunagare-sonomi <at> edu.pref.shimane.jp ※ <at> は@に置き換えてください

◇その他

島根大学・地域未来協創本部・地域医学共同研究部門 ホームページ

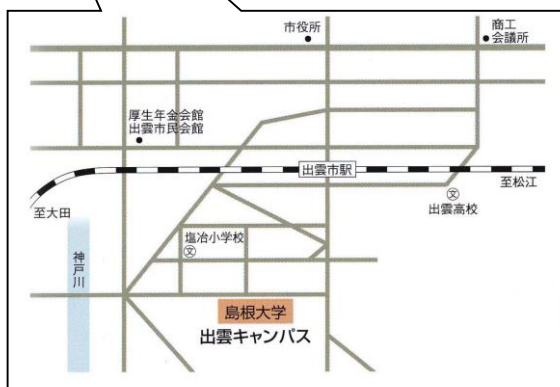
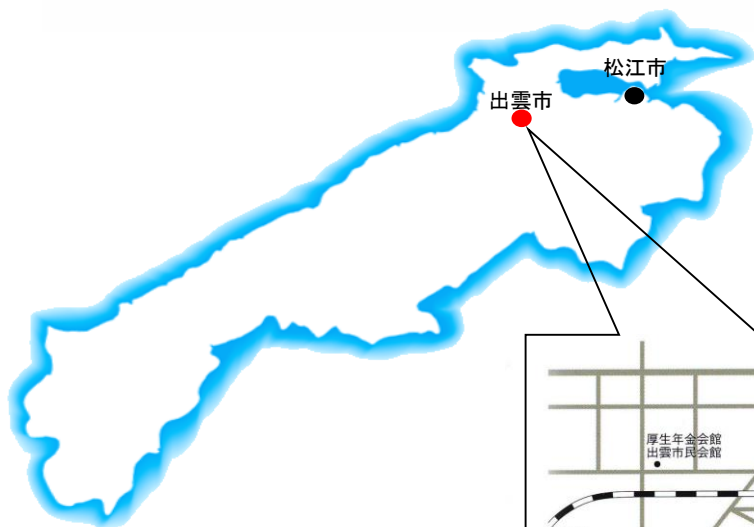
URL: <https://www.med.shimane-u.ac.jp/CMRC/index2.htm>

※本取り組みは、「出雲高等学校魅力化コンソーシアム」の協働事業として位置付けており、中村は学識経験者として参加しています。

【添付資料： あり（ 3 枚） なし】

キャンパス案内・交通アクセス

出雲キャンパス



島根大学地域未来協創本部

Office for Regional Collaboration and Innovation SHIMANE UNIVERSITY

地域医学共同研究部門

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL 0853-20-2912 FAX 0853-20-2913
mail: cmrc@med.shimane-u.ac.jp
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/CMRC/index2.htm>

当日のスケジュール

島根大学地域未来協創本部 出雲高校フィールド学習教育 スケジュール (R2.11.6)

9:00~9:20	午前の学習プログラム		休憩	午後の学習プログラム		まとめ
	9:20~10:20	10:30~11:30	11:30~12:30	12:30~13:30	13:40~14:40	14:40~15:40
オリエンテーション	先端医学研究	救急医療	昼食	看護医療	医療栄養	高大産学官連携による大交流会・総合討論 アンケート
	・ナノメディシン	・音声認識システム ・マグネット鉗子		・ナースライト ・点滴サポーター	・制限食支援システム	14:40~14:55 企業・出雲市様からのエール(各5分) ・Doライト(株) 代表取締役社長 田中博之 様 ・(株)日本ハインソフト 課長 小原英和 様 ・出雲市 商工振興課 係長 飯塚潔 様 14:55~15:10 高校生からの質問等 15:10~15:25 医学科生との交流 15:25~15:40 総合討論

- ・実習は全ての開発に携わった中村が担当します。
- ・開発した医療機器およびシステムは島根大学と出雲市が共同で進める「やさしい医工連携」の成果です。(ナノメディシンを除く)
- ・参加企業は出雲市、島根県の地場産業を中心とした産学官連携です。
- ・全ての成果品は特許取得または申請中のイノベーションです。

昨年のフィールド学習 (出雲キャンパス) 出雲高校理数科1年40名 R1.7.12



救急医療 (音声認識システム)



救急医療 (マグネット鉗子)



看護医療 (ナースライト) の実習風景



看護医療 (点滴サポーター) の実習風景

【共同研究企業等】(当日 WEB 参加の企業は太字)

- ・音声認識システム：出雲消防、山陰制御 (安来)、テックシロシステム
- ・内視鏡マグネット鉗子：キシエン지니어リング (出雲)
- ・ナースライト：Do ライト (出雲)、島根富士通
- ・点滴サポーター：スリーケー (出雲)、ともみ工房 (雲南)、
村田製作所、ミヨシ電子、ケアコム
- ・制限食支援システム：日本ハインソフト (出雲)、シャトラン (浜田)



医療栄養 (制限食無限レシピ) の実習風景

【知的財産権】

- ・音声認識システム：特許取得 特許第 6069600 号 (発明者：橋口、中村、四郎丸)
- ・内視鏡マグネット鉗子：特願 2015-0821692 (発明者：三代、中村、岸、木下)
- ・ハンズフリーナースライト：特願 2015-008441、US2019/0011116A1 (発明者：中村、矢野、田中)
- ・点滴サポーターシステム：特願 2015-137935 (発明者：中村、矢野)
- ・制限食支援システム：特許取得：特許第 6714238 号 (発明者：中村)

昨年発刊のNews Letter (表紙)

URL: <https://www.med.shimane-u.ac.jp/CMRC/news%20letter2019.pdf> (ダウンロード可)



島根大学 地域未来協創本部
地域医学共同研究部門

News Letter

No.15 2019.8



島根大学で進める医工連携
～産学連携の歩みと今後の展望～

島根大学地域未来協創本部 地域医学共同研究部門 部門長・教授 中村守彦



2002年に旧島根医科大学に地域医学共同研究センターが設置され、旧島根大学との大学統合・国立大学法人化により産学連携センターへ改組し、そして現在は地域未来協創本部地域医学共同研究部門として、皆様の多大なご支援のもと、活動を続けてまいりました。この17年間で大学における産学連携の位置付けは大きく変わり、今後益々その重要性は増していきます。今回は、ニュースレター創刊15周年を迎え、当部門のこれまでの活動成果をまとめてご報告します。当部門が共同研究(代表者または協力者)に関わって製品開発した事例を主に紹介します。今後も産学連携活動へのご理解・支援をよろしくお願いいたします。

赤破線が今回体験する開発製品

